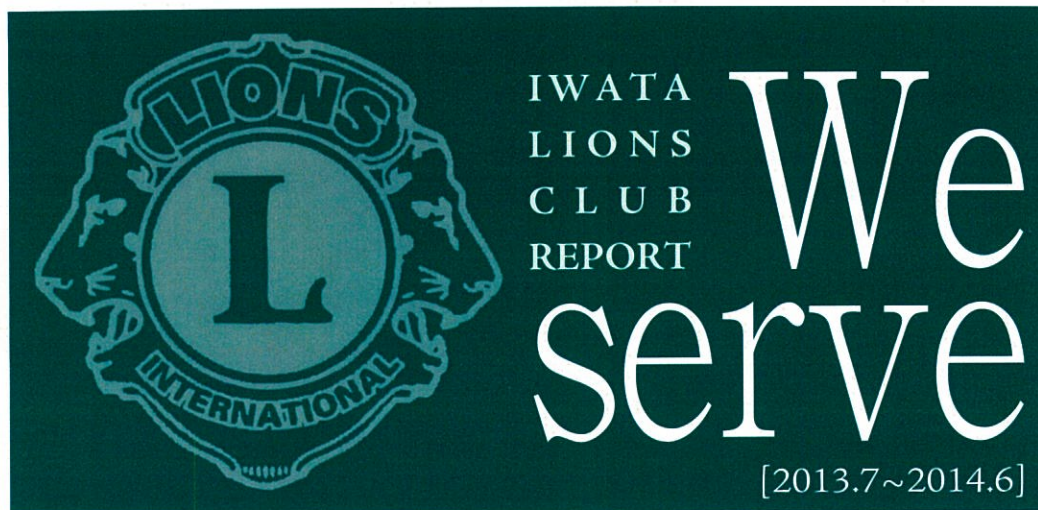




磐田ライオンズクラブ

スローガン 広げようライオンズの輪、広げよう奉仕の心

努力目標 楽しい例会、親睦を大切に無理のない活動

国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

334複合地区スローガン

温故知新 ー創造と挑戦とスピードで、さらに価値ある奉仕を

334ーC地区スローガン

ライオンズの「原点を学び、楽しく奉仕」ー飛躍への新たな挑戦

2013 8



本年度役員・理事の皆さん

本年は会員拡大の年！

前年度はCN55年の節目の年でもあり、合わせて森町クラブの岡野ガバナーをバックアップすることに注力した年でもありました。また、長年にわたる課題でもあったホームページの刷新をして頂きました。歴代会長のご努力のお蔭でクラブ内のインフラがかなり整備されたことに感謝致します。

このような状況の中で今年度の磐田クラブに課せられた問題は「会員拡大」に尽きると思い、理事会にて提案しました。幸い今年はキャビネットの要職を経験された方が多く、会員拡大のための体制を作るのは本年を措いてはないと感じました。会員委員長にL.山内、GM・GLT・アラートリーダーにL.堀内と強力な布陣になりました。20名の新会員獲得の目標を新聞でも発表致しました。もうあとには引けません。磐田ライオンズクラブの目標を公表してしまったわけです。やるしかありません。すでにリーダーのL.堀内が特別チームのメンバーを選抜し、会員拡大の会議を開き具体的な行動計画を実行して頂いています。磐田クラブの真価が問われるところです。たまたま私はこのような大きな課題に直面する年に会長を仰せつかったわけです。私の持てる力を全身全霊を振り絞って取り組んでいるところです。まず、自分自身に言い聞かすために一年間は毎週水曜日(私の週一の休日)にクラブのルームへ出勤することにしました。その時間は磐田クラブのことだけ…特に会員拡大だけの方策を考えたり、訪問したりすることにしました。ワークショップの開催や特別チームの活動は非常に心強く、会員の皆様のご協力が必ず報われ、新会員20名が達成されることを信じています。

本年は「会員拡大の年」、ということで宜しくお付き合いをお願い申し上げます。



会長
L. 青島 克樹



幹事
L. 中野 純

磐田ライオンズクラブ・2013年度幹事の職を拝命いたしました中野純です。不肖ながらクラブ運営に誠心誠意を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

昨年12月の理事会前、青島会長が私の側に歩み寄ってこられ「幹事をお願いできないか？」と仰いました。突然のことで大変驚きましたが、「頼まれ事は試され事」という言葉が頭に浮かび、その場でお引き受けをいたしました。「今はそういう時なんだな」と感じたのです。私は、物事をあるがままに受け止め、自然の流れに任せるということが成功の秘訣だと考えています。何も努力せず放っておくとは異なります。何事も一所懸命、誠心誠意行い、良い流れを自分に引き寄せ、これだと思ったらその流れに乗るのです。「流れ」は「機会(チャンス)」と言い換えても良いかもしれません。皆様から素晴らしい機会を頂きました。ありがとうございます。青島会長が目指す会員増強と楽しい例会運営に努め、この機会を有意義なものにしたいと思います。1年間よろしくお願いいたします。



会計
L. 清水 忍

青島会長からご指名を戴きましたが、最高齢者を理由にお断わりしました。

しかし、若手の方も引き受けが難しいとの理由で、止むを得ず2回目の会計を引き受けた次第です。

クラブ会計は、会社の会計事務と異なり、収入源は、年会費徴収(幹事担当)・ファイン・ドネーション収入(テールツイスター担当)・予算書作成は財務委員会に、夫々分かれています、みなさんご承知の通りです。会計の任務は、クラブの預金・現金を管理し、理事会の指示に従って支払いをする仕事です。支払いの内容、数字等、事務局伊藤さんと協働で、厳正な支出負担行為を心掛けます。

1年間、会長、幹事の足手まといにならないよう・会員拡大は勿論、本年度の努力目標「楽しい例会、親睦を大切に、無理のない活動」に向かって、みなさんと共に、頑張りますので、よろしくお願いいたします。



第一副会長
L. 大石 明浩

青島会長の新年度を迎え、クラブメンバー全員で一年間会長の方針に伝えるべく明るく、楽しいクラブ運営に協力して行きましょう。今年度は特にメンバー増員十名いや二十名と大きな目標を掲げていますのでメンバー一人一人の協力の下、目標達成の喜びを味わうべく行動し頑張りましょう。ライオンズクラブとは、明るく楽しく世の為、人の為にアクティビティを行なう仲間の集まりと認識しています。全員が平等であり、ボスも派閥もない、素直に心から奉仕活動に協賛参加し血と汗を提供出来る人間である事に誇りを持ち日々心身健康であるよう鍛え続けましょう。今年の夏も暑い(怒)です。身体に気を付け、「さあ、青島丸の船出です」。



第二副会長
L.相場大幸

熱い想いがあります。僕たちを突き動かして止まない熱い想いがあります。
願いは行動の原動力です。強く願えば成就が近づきます。心を込めた祈りも形にあらわれていきます。皆の心がぴたりと、一人で呼吸するように揃っていて、進んで喜んで行動し、猛烈な勢いで進んでいく、そんなクラブでありたいと思います。「五十、六十は花なら蕾、七十、八十は働きざかり」の置き土産を胸に抱き、「あなたのランプの灯を、もう少し高くかかげてください」の言葉のとおり、志を高く持って、この一年を活動していきます。
一年はあっという間に過ぎてしまいます。振り返った時に、いい思い出として残ることで私たちは続けていけます。楽しく美しい一年を送りたいと思います。



ライオン・テーマー
L.石井明雄

このたびライオン・テーマーの役を任命され、新年度がスタート致しました。必携によりますとクラブの諸備品の整備、保管、会場の設営の職責があるとなっております。本年度はテーマー1人となっており、毎月理事会、例会2回とすこし忙しい思いがしますが、出来る限り欠席のない様、例会がスムーズに出来る様に致します。1年間宜しく御指導下さい。



テール・ツイスター
L.江間清

皆様のご協力を賜り、テール・ツイスターを勤め上げたいと思います。食事タイムがご多忙の皆様の、暫しの寛ぎになればと思います。そこでの隣同士の語らいから、熱い想いからドネーションにも繋がっていただければいいです。他人(ひと)との語らい、出会いから全ては始まるといわれます。例会のテールの重責を担いきれよう努めて参りますので、宜しくお願いします。



会員委員長
L.山内盾夫

今年度は従来の5委員会(会員・会則・財務・接待・出席)が当委員会として担当になりました。会員数減少傾向の中、会長方針として会員維持・増強を最重要課題として上げられました。そこで特別プロジェクトチームとして“GM・GLT”を編成し、純増10名を最低目標として進めて参りますので、是非ライオンに相応しい人材の推薦をお願い致します。会則(内規)に付きましては、時代に則したものか検証・見直しを致します。例会出席率の向上に努め、出席率100%例会を年1回以上達成する事を目標に努力して参りますので、皆様方のご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



大会計画委員長
L.鈴木康志

大会計画委員会の担当は、8月第2例会の家族会、12月第2例会の研修会及び6月第2例会のさよなら例会の3例会となりますが、今年度は8月第2例会を研修会とし、12月第2例会を家族会として、つま恋にてサウンドイルミネーションを鑑賞していただき、家族の皆さんにも楽しんでもらえるように委員会メンバーも頑張ります。1年間皆様のご協力をよろしくお願い致します。



献眼献腎献血委員長
L.高塚昌一

献眼献腎献血委員会は「奉仕よりも会員増強」との本年度クラブ方針を受け、例年並みの事業を節約内容で行うことになりました。

早速7月27日のジュビロード夏祭りに参加して市民の皆様に献眼登録の呼び掛けや腎臓バンクの資料配付を行った結果、アイバンク登録ハガキに60名の記入をいただくことができました。猛暑下の長時間の作業に多くの会員が参加され、終了時のテントや資材の撤収にも20名もの会員が居残って協力していただきました。心よりお礼申し上げます。

来年5月の献血活動もどうぞよろしくお願い致します。“We Serve”



環境福祉委員長
L.加藤克己

本年度環境福祉委員会の委員長を務めさせていただく事になりました加藤克己です。今年度もライオンズパークの草刈りを、二之宮二丁目自治会と中部電力の社員と共に、年3回実施することとなりました。また美化活動にも参加して、磐田市民が豊かな心を持てるような環境になれるよう努力していきたいです。汗を流す労力活動となりますが、磐田市民の皆様の目に触れる奉仕活動をアピールし、会員拡大に繋がることが出来たら良いかと思います。是非ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



青少年・YCEクエスト委員長
L.舟橋文彦

本年は、例年実施される平和ポスターの依頼文作成後の活動が磐田第一中学校の生徒会への東日本大震災いわき市被災中学校への交流及び支援活動への支援から始まりました。委員の皆様には快く生徒会旅費支援金を了承して頂きありがとうございます。また、磐田ライオンズクラブの皆様にも被災中学校の支援金に御参加頂き、有難うございます。いわき市と原子力発電所との位置関係が磐田市に類似していることから、遠く灘で先に大地震が起こっていれば、こちらが被災地であったことや、被災地の中学三年生は、2011年3月の時に、6年生であったことから、いわき市の同年代の生徒も震災時は、丁度小学校の卒業式で、卒業式を行うことが出来ない状態だったこともあり、一番つらい思いをした年代の子供達であり、今その生徒達との交流することは貴重な体験になると思います。今後も、青少年YCEが磐田市の子供達のために今何が出来るかを思索して活動を行いたいと思います。

GMT・GLT、アラート特別編成委員会より

今期目標 20名	2013.7より2014.6まで
----------	------------------

GMT・GLT、アラートリーダー

L.堀内 豊



1) 今なぜ会員の増強が必要か。

我々の先輩方が磐田ライオンズクラブを設立してから、55年が経ちました。この間、多くのメンバーが奉仕活動を精力的に続けてまいりました。

『継続は力なり』と、諺にあります。チャーターより磐田ライオンズを支えていただいた先輩方々への熱き血潮に感謝すると共に、磐田を我々が支えるという気持ちに変わりはないでしょう。

そこで、奉仕の内容も時代と共に変遷する事でしょう。これは、新たなメンバーの加入により、奉仕の考えが変わっていくことになると思います。新しき血の加入によりさらに拡大の時を得る事になると思います。

新旧が交じり合う事により、尚一層の発展が臨めるのであります。多くのメンバーとの話し合い・アクティビティ・額に汗して自分に適したことに参加しましょう。これらのことに理解し、参加するべく仲間を多く集めましょう。個人では出来ない事を我々 We serve にて成し得ましょう。

2) 招請はトレーニング

今新会員を招請しようとするとき、みなさんはどのような磐田ライオンズクラブの紹介をしますか？私は、自分自身の感動体験を持って話をします。どんな小さなことでも結構と思います。まず、故人になられた先輩の話として、国府台の公園の塗装をおこなっていた折「会長を辞めて70代になられて、たいへんでしょう」と声を掛けたとき、「このような事業に参加できることがうれしい」とおっしゃいました。その時意味が良く解からなかったのは事実です。何で公園の塗装にそのようなうれしさを持つことが出来るのか。後で自問自答して、私なりに結論を得たのです。自分の健康に感謝・地域の人々のお役に立てること、小さなことでも大きな心の糧を得ることが出来るのです。まだまだ例はありますが、言い出したら切りがありません。

大きなアクティビティもありますが、我々が今できることを、精一杯額に汗して行うことも立派なアクティビティといえるでしょう。人それぞれ考え方も行動も違うと思います。そんな仲間とのふれあいもライオンズの目的のひとつでありましょう。

『招請はトレーニング』の意味は、これらに共通する感動をいかに相手に伝えることができるかという事でありました。共に行動する同志の獲得こそ本来のライオンズ活動そのものであると思います。考えるより一歩足を前に踏み出そう。あなたも磐田ライオンズクラブの一員です。

献眼登録運動

いわたジュビロード夏祭りにて 7月27日(土)



7月12日(金) 辻菊にて
静岡新聞 福田雄一記者、中日新聞 宮沢輝明記者の2名と磐田ライオンズクラブから青島会長、中野幹事、大石第一副会長、乗松PR情報副委員長の計6名で懇親会を行いました。

当日はL.田中のご祈祷お陰で雨の心配なし。氷は会員が冷蔵庫で作って経費節約。L.小栗・L.斉藤(道)から差し入れのスイカをクーラーボックスで冷やしておいしくいただきました。テントとトラックを貸与のL.室伏。風船釣り、金魚釣りなどを自作してくれたL.小栗。L.田代の呼び込みもあり子ども達に大人気でした。その間を利用して親御さんに角膜移植の説明もできました。風船はアイバンクと腎臓バンク、ヘリウムガスはアイバンクからの提供でした。

献眼献腎献血委員長 高塚昌一

PR情報委員長
L.鈴木 政義

第1回の発行にあたり

7月に青島新会長の下、新年度がスタートしまして最初の会報を、メンバー皆様の協力を得て無事発行することが出来ました。ありがとうございました。

さて私こと、先般来少し体調を崩しまして、乗松副委員長始め、他の委員の皆様にご迷惑をお掛けしております。この場を借りてお詫び申し上げます。

今後、体調の回復に努め、例会や委員会活動に参加し、ライオンズクラブの活動を広く御理解いただけるよう、良い会報作りをしていきたいと思っております。今年度も宜しくお願い申し上げます。